

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	c		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米児童文学の原書を読解することにより英語力の向上を図るとともに、文学作品の鑑賞眼を養う。また、演習で学んだことより、自分の考えをまとめ発表する力を身につける。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

英米児童文学の代表的な作品を読解する。まず比較的読みやすい"The Wonderful Wizard of Oz"を読解後、それぞれの考えをまとめて発表する。アダプテーション作品についても考察する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 1 ~ Chapter 2
- 3 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 3 ~ Chapter 4
- 4 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 5 ~ Chapter 6
- 5 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 7 ~ Chapter 8
- 6 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 9 ~ Chapter 10
- 7 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 11 ~ Chapter 12
- 8 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 12 までの復習 小テスト
- 9 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 13 ~ Chapter 14
- 10 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 15 ~ Chapter 16
- 11 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 17 ~ Chapter 18
- 12 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 19 ~ Chapter 20
- 13 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 21 ~ Chapter 23
- 14 "The Wonderful Wizard of Oz" の総復習
- 15 "The Wonderful Wizard of Oz" の総復習とアダプテーション作品

授業の方法

講義後、各自が内容について調べて、グループディスカッションの後に発表をする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40%、小テスト20%、レポート40%
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

L. Frank Baum. "The Wonderful Wizard of Oz" Dover Children's Evergreen Classics
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	d		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
小野 礼子	必修	2				

授業の到達目標

ことばに対する理解を深め、様々な言語や言語変種、そして、それを使う人々に対する正しい態度を養う。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、及びIn（国際性）を養う。

授業の概要

社会言語学の演習である。社会言語学の領域、二言語使用・多言語使用、地域方言、社会方言について学ぶ。毎回その日のテーマについて各々がまとめてきたことを発表し、その後、全員でディスカッションを行う。また、レポート・論文の書き方の指導も行う。そして、演習Iの最後に、各々の研究について発表を行う。

授業計画

- 1 言語と社会、言語の変種
- 2 方言と標準語：日英米の方言、標準語と共通語、日英米の標準語／共通語
- 3 言語接触の研究
- 4 二言語使用と不完全言語使用
- 5 ダイグロシヤ
- 6 コード切り替えとコード混合
- 7 二言語使用教育、エポニックス論争
- 8 フィールドワーク、等語線と波動説
- 9 レポート・論文の書き方
- 10 社会階級と言語、ニューヨーク市の階層化
- 11 世代によることばの違い、性別とことばの問題
- 12 民族グループによることばの違い
- 13 コックニー英語の特徴
- 14 アフリカ系米国人の英語の特徴
- 15 個人研究発表

授業の方法

発表とディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

発表後は、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の20%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

田中春美・田中幸子（編著）『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

参考図書

東昭二『社会言語学入門（改訂版） 生きた言葉のおもしろさに迫る』（研究社）

留意事項

- ・平常点には、発表、出席状況、日頃の学習態度等の評価が含まれる。
- ・定期試験は、個人研究レポートの提出とする。
- ・毎授業に出席するだけでなく、積極的に発言することで授業に参加・貢献してほしい。

教員連絡先

onoreiko@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	b		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれて理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英国のドラマのスク립トを読解後、そのアダプテーション作品を鑑賞し、その映像化における視点やテーマなどを分析、さらに考察する。それぞれの関心のあるテーマに関して、分析や調査したことをまとめて発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

前期に学んだ作品と後期の双方の作品についてのアダプテーション作品を鑑賞し、それらの脚色法等について分析する。さらに、読解した2作品以外にも、学生が関心のある作品を取り上げ、それらのアダプテーション作品について、読解、調査、考察し、さらに発表とディスカッションを行う。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "The Importance of Being Earnest" ACT 1
- 3 "The Importance of Being Earnest" ACT 2
- 4 "The Importance of Being Earnest" ACT 3
- 5 "The Importance of Being Earnest" の総復習 小テスト
- 6 "The Importance of Being Earnest" のアダプテーション作品を鑑賞する。
- 7 "The Importance of Being Earnest" のアダプテーション作品について分析する。
- 8 "The Importance of Being Earnest" のアダプテーション作品についてのレポートの発表
- 9 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品を考察する。
- 10 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品を考察する。
- 11 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品を考察する。
- 12 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品を考察する。
- 13 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品を考察する。
- 14 興味のある英米の文学作品のアダプテーション作品についての発表をする。
- 15 興味のある英米の文学作品とそのアダプテーション作品についてレポートを作成する。

授業の方法

講義後、各自が原書講読をし、授業取り上げた作品について調べて考察後、まとめて発表する。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40％、小テスト20％、レポート40％
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

Oscar Wilde. "The Importance of Being Earnest" Oxford Bookworms Stage 2
その他は授業中に指示する。
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれている理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米の文学や戯曲の原書や多読図書を読解することにより、英語力の向上を図り、文学作品の鑑賞眼を養うとともに、分析をする。また、それらのアダプテーション作品についても考察する。演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容より、各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、クラスにおいて発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

授業では、まず、戯曲と映画（および、ミュージカル）を基に小説化された作品を多読図書で読んだ後、それらのアダプテーション作品を分析する。また、演習で学んだ内容より、各自がテーマを決定し、研究のための資料、データ、先行論文等を用意して、ディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イントロダクション
卒業研究について
- 2 個人研究の発表とディスカッション
"Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 10 ~ Chapter 11
- 3 個人研究の発表とディスカッション
"Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 12
作品全体について分析する。
- 4 個人研究の発表とディスカッション
"Alice's Adventures in Wonderland" の分析
- 5 個人研究の発表とディスカッション
"The Importance of Being Earnest" ACT 1
- 6 個人研究の発表とディスカッション
"The Importance of Being Earnest" ACT 2
- 7 個人研究の発表とディスカッション
"The Importance of Being Earnest" ACT 3
- 8 個人研究の発表とディスカッション
"The Importance of Being Earnest" の総復習 小テスト
- 9 個人研究の発表とディスカッション
"The Importance of Being Earnest" のアダプテーション作品を鑑賞する。
- 10 個人研究の発表とディスカッション
学生が関心をもつ英米の作品を読解する。

- 11 個人研究の発表とディスカッション
学生が関心をもつ英米の作品を読解する。
- 12 個人研究の発表とディスカッション
- 13 個人研究の発表とディスカッション
- 14 個人研究の発表とディスカッション
- 15 研究成果の発表
まとめ

授業の方法

多読図書を読解し、それらのアダプテーション作品を考察する。個人研究の発表とディスカッションを中心にすすめてゆく。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）20％、発表40％、レポート40％
課題、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

Oscar Wilde, "The Importance of Being Earnest" Oxford Bookworms Stage 2
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれている理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	d		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米の文学の原書や多読図書を読解することにより、文学作品の鑑賞眼を養うとともに、分析をする。また、それらのアダプテーション作品についても考察する。各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

演習Ⅰ～Ⅲで学んだ内容を基礎として、各自のテーマを決定し、調査、研究を行う。授業では、研究のための資料、データ、先行論文等を用意して、ディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イントロダクション
卒業研究について
- 2 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 3 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 4 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 5 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 6 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 7 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 8 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 9 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 10 個人の卒業研究の発表
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 11 個人の卒業研究のまとめ
クラスでの質疑応答とディスカッション

- 12 個人の卒業研究の完成
クラスでの質疑応答とディスカッション
- 13 完成した個人の卒業研究のクラス内での発表
クラス内での質疑応答とディスカッション
- 14 まとめ
口頭試問について
- 15 卒業研究の口頭試問

授業の方法

各自が選んだテーマについて、読書と調査をおこない発表する。その後、クラスにおいて質疑応答書とディスカッションを行う。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点 20%、発表 40%、レポート 40%

欠席について

規定に従う。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-5	13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect through extensive reading.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Quick Book Report
Chapter 1 Popular Sports
- 3 Shared Dictation
Chapter 1 Popular Sports
- 4 Picture It (1)
Chapter 1 Popular Sports
- 5 Picture It (2)
Chapter 2 Healthy Eater
- 6 Interactive Reading Community (1)
Chapter 2 Healthy Eater
- 7 Interactive Reading Community (2)
Chapter 2 Healthy Eater
- 8 Gifts (1)
Chapter 3 Dream Homes
- 9 Gifts (2)
Chapter 3 Dream Homes
- 10 Sentence Detective (1)
Chapter 3 Dream Homes
- 11 Sentence Detective (2)
Chapter 4 Greetings
- 12 Favorite Quotation (1)
Chapter 4 Greetings
- 13 Favorite Quotation (2)
Chapter 5 A City Without Oil

- 14 My Own Story
Chapter 5 A City Without Oil
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

- Book Report 30%
- Tests and Quizzes 30%
- Class Participation 30%
- Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Books for extensive reading of the college library.
Oxford Select Readings Elementary, 2nd edition. Linda Lee

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp
yoshino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Writing 102	102-2/102-3/102-4	13905	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Andy RUSHTON/James C. JENSEN	必修	1			

授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion of this course, students will be able to: demonstrate increasing control of grammar, vocabulary, punctuation, and spelling skills, write a paragraph with adequate support, demonstrate increasing ability to recognize and write introductory, body, and concluding sentences, and understand and utilize the writing process.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Who am I?
- 3 Unit 1 Who am I?
- 4 Unit 2 An Important place
- 5 Unit 2 An Important place
- 6 Unit 3 An ideal partner
- 7 Unit 3 An ideal partner
- 8 Mid Term
- 9 Unit 4 My favorite photo
- 10 Unit 4 My favorite photo
- 11 Unit 5 My seal
- 12 Unit 5 My seal
- 13 Unit 6 Party time
- 14 Unit 6 Party time
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs, and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

- Final Report 20%
- Tests and Quizzes 10%
- Class Participation 20%
- Homework 50%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Cambridge Writing from Within Level 1, 2nd edition. Curtis Kelly & Arlen Gargagliano

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Writing 102	102-5	13905	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	必修	1			

授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion of this course, students will be able to: demonstrate increasing control of grammar, vocabulary, punctuation, and spelling skills, write a paragraph with adequate support, demonstrate increasing ability to recognize and write introductory, body, and concluding sentences, and understand and utilize the writing process.

授業計画

- 1 Instant Book Report
- 2 The 4/3/2 Technique
- 3 Minidramas (1)
- 4 Minidramas (2)
- 5 Guess Who? (1)
- 6 Guess Who? (2)
- 7 Favourite Books (1)
- 8 Favourite Books (2)
- 9 Describe and Present (1)
- 10 Describe and Present (2)
- 11 Mind's Eye (1)
- 12 Mind's Eye (2)
- 13 Poster Presentations (1)
- 14 Poster Presentations (2)
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs, and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Book Report 30%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 30%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Books for extensive reading of the college library.

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp
yoshino@kaisei.ac.jp

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Grammar 103	103-2/103-3/103-4	13907	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
入江 和子/和泉 有香	必修	1			

授業の到達目標

In this class, students will strengthen their sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion, learners will be able to comprehend and use: simple present and present progressive, simple past and past progressive

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 1 The Simple Tenses
- 3 Chapter 1 The Progressive Tenses, Spelling of -ing and -ed Form
- 4 Chapter 1 Simple Present
- 5 Chapter 1 Simple Present
- 6 Chapter 1 Simple Present
- 7 Chapter 1 Present Progressive
- 8 Chapter 1 Present Progressive
- 9 Mid Term
- 10 Chapter 1 Simple Past
- 11 Chapter 1 Simple Past
- 12 Chapter 1 Simple Past
- 13 Chapter 1 Past Progressive
- 14 Chapter 1 Past Progressive
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:
Final Exam 40%

Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Pearson Understanding and Using English Grammar, 5th edition.
B.A. Azar & S.A. Hagen

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 201	201-3/201-4	13911	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
佐伯 瑠璃子／小野 礼子	必修	1			

授業の到達目標

This class will develop a sense of internationality, intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and word forms.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 3 Making Money: Reading Two, I Made It Myself
- 3 Unit 3 Making Money: Focus on Writing 1
- 4 Unit 3 Making Money: Focus on Writing 2
- 5 Mid Term
- 6 Unit 4 Subway Etiquette: Reading One, A Civilized Suggestion
- 7 Unit 4 Subway Etiquette: Reading One and Two, Riding the Subway in Japan
- 8 Unit 4 Subway Etiquette: Reading Two, Riding the Subway in Japan
- 9 Unit 4 Subway Etiquette: Focus on Writing 1
- 10 Unit 4 Subway Etiquette: Focus on Writing 2
- 11 Unit 5 Perception: Reading One, Is Blue Always Blue?
- 12 Unit 5 Perception: Reading One and Two, The Dress That Almost Broke the Internet
- 13 Unit 5 Perception: Reading Two, The Dress That Almost Broke the Internet
- 14 Unit 5 Perception: Focus on Writing
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

NorthStar 2: Reading & Writing, 5th edition. Natasha Haugnes and Beth Maher

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 201	201-5	13911	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect through extensive reading.

授業計画

- 1 Introduction
- Chapter 8 Denmark Loves Bicycles
- Shared Dictation
- Chapter 8 Denmark Loves Bicycles
- Reading the Same Book with the Class (1)
- Chapter 8 Denmark Loves Bicycles
- Chapter 9 A Passion for Cooking
- The Movie Version (1)
- Chapter 9 A Passion for Cooking
- The Movie Version (2)
- Chapter 9 A Passion for Cooking
- The Best of Books, the Worst of Books (1)
- Chapter 10 Travel More, Spend Less
- The Best of Books, the Worst of Books (2)
- Chapter 10 Travel More, Spend Less
- One-Sentence Summaries (1)
- Chapter 10 Travel More, Spend Less
- One-Sentence Summaries (2)
- Chapter 12 Protecting Cultural Traditions
- Reading the Same Book with the Class (1)
- Chapter 12 Protecting Cultural Traditions
- Reading the Same Book with the Class (2)
- Chapter 12 Protecting Cultural Traditions
- Once Upon a Time (1)
- Chapter 13 Emergency in the Air
- Once Upon a Time (2)
- Chapter 13 Emergency in the Air

15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Book Report 30%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 30%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Books for extensive reading of the college library.
Oxford Select Readings Elementary, 2nd edition. Linda Lee

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp
yoshino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	ET		13501	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「社会」）（箕野） 私立中学高等学校教員（科目「英語」）（宮副）			

授業の到達目標

初等国語の 貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけることも観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。（箕野）
すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。（宮副）

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。（箕野）
児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。（宮副）

授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其 桃太郎」
- 2 浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 坪田譲治「河童のはなし」
- 5 有島武郎「房の葡萄」
- 6 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 7 松谷みよ子「貝になった子供の話」
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』
- 10 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 11 R.L.スティーブenson『宝島』
- 12 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 13 L.M.オルコット『若草物語』
- 14 ペアトリクス・ボター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。（箕野）
演習形式の授業である。学生の担当を決めて発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。（宮副）

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。（箕野）
平常点15%、小テスト15%、発表、および提出物 30%、レポート40%（宮副）

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。（箕野）
『たのしく読める英米児童文学』本多英明/桂宥子/小峰和子編著 ミネルヴァ書房（宮副）

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kasei.ac.jp
miyazoe@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
インターンシップ（海外）			13967	Ⅱ	集中	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	選択	2				

授業の到達目標

海外で就業体験をすることで、自国の文化のみならず他国の文化をも理解し、異文化との交流を通してグローバルな精神を培い、相手の考えに耳を傾け、自分の意見を発信しながらコミュニケーション能力を高める。実践的な活動を通し、将来の職業選択に備え自らの適性・能力を知る機会とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）、In（国際性）とS（奉仕）を養う。

授業の概要

興味のある学生は各担当教員に問い合わせてください。
【アシスタント・ティーチャープログラム】
カリフォルニア州トランス市にある公立小学校で、専任教員のアシスタントとして子どもたちの指導に携わる。
・対象学科・学年：ET学科、PC学科2年次生以上
・期間：春季休暇中10日間以上
・委託機関：ライトハウス
・担当：酒井
【イベントコース：まつりインハワイ】
「まつりインハワイ」の運営業務、「旅行管理主責任・取得研修」プログラム。
・対象学科・学年：ET学科2年次生以上
・期間：6月中旬の1週間と国内における3回の事前研修
・委託機関：近畿日本ツーリスト
・担当：石原
【観光ビジネスコース】
ハワイ州の観光業、ウェディング業、教育業などで、インターンシップを体験する。
・対象学科・学年：ET学科2年次生以上
・期間：夏季休暇もしくは春季休暇を利用して3～4週間
・委託機関： 般社団法人日本国際人材育成協会、他米国NPO法人
・担当：佐伯

授業計画

- 1 事前学習
- 2 事前学習
- 3 現地実習
- 4 現地実習

- 5 現地実習
- 6 現地実習
- 7 現地実習
- 8 現地実習
- 9 現地実習
- 10 現地実習
- 11 現地実習
- 12 現地実習
- 13 現地実習
- 14 現地実習
- 15 ポートフォリオの提出（日報、レポートなど）及び発表

授業の方法

各自に設定されたプログラムに従うインターンシップ

準備学修

原則としてTOEIC400点以上を取得し、プログラム参加に必要な最低限の英語力をつけておくこと。

課題・評価方法、その他

課題は委託機関の基本方針に基づいて実施され、詳細は委託機関及び本学による。
各々のインターンシップは以下のプログラムによって構成される。
①2～3回の事前学習（英語研修や実習準備など）
②現地実習
③ポートフォリオの提出（日報、レポートなど）と発表

教員連絡先

saeki@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 500	秋/a/b	13939	Ⅱ/Ⅲ	秋／春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Andy RUSHTON／James C. JENSEN／Cory McKENZIE	選択	2			

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- identify main ideas and supporting details from listening materials and prepare spoken and written summaries
- make inferences and give advice
- ask for and give reasons and supporting opinions
- identify facts and opinions
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include leisure activities, jobs, daily routines, and special days.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Leisure and Sport
- 3 Unit 1 Leisure and Sport
- 4 Unit 2 Firsts and Lasts
- 5 Unit 2 Firsts and Lasts
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 3 Work and Rest
- 10 Unit 3 Work and Rest
- 11 Unit 4 Special Days
- 12 Unit 4 Special Days
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%
Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 501	秋/春	13941	Ⅱ/Ⅲ	秋／春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
國本 恵理香／宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
- 3 Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
- 4 Chapter 2 Young Women Changing the World
- 5 Chapter 2 Young Women Changing the World
- 6 Chapter 3 Student Learning Teams
- 7 Chapter 3 Student Learning Teams
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 4 Learning to Speak
- 10 Chapter 4 Learning to Speak
- 11 Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
- 12 Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
- 13 Chapter 6 Culture Shock
- 14 Chapter 6 Culture Shock
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Oxford Bookworms A Tale of Two Cities by Charles Dickens retold by Ralph Mowat

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 601	a/b	13949	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
後藤 江里／宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 3 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 4 Chapter 9 How to Make a Speech
- 5 Chapter 9 How to Make a Speech
- 6 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 7 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 11 Letters of Application
- 10 Chapter 11 Letters of Application
- 11 Chapter 12 Out to Lunch
- 12 Chapter 12 Out to Lunch
- 13 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 14 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Oxford Bookworms Treasure Island by Louis Stevenson retold by John Escott

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Writing 602	秋	13951	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Andy RUSHTON	選択	2			

授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion of this course, students will be able to: demonstrate increasing control of grammar, vocabulary, punctuation, and spelling skills, write a paragraph with adequate support, demonstrate increasing ability to recognize and write introductory, body, and concluding sentences, understand and utilize the writing process, explain a process, and write about spatial order, time order, and order of importance.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 10 Cause and Effect Paragraph
- 3 Unit 10 Cause and Effect Paragraph
- 4 Unit 11 Persuasive Paragraph
- 5 Unit 11 Persuasive Paragraph
- 6 Unit 12 Problem-Solution Paragraph
- 7 Unit 12 Problem-Solution Paragraph
- 8 Mid Term
- 9 Unit 13 About the Essay
- 10 Unit 13 About the Essay
- 11 Unit 14 Changing a Paragraph into an Essay
- 12 Unit 14 Changing a Paragraph into an Essay
- 13 Unit 15 Writing an Essay from the Beginning
- 14 Unit 15 Writing an Essay from the Beginning
- 15 Review

授業の方法

Students will work in groups and individually

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Report 20%
Tests and Quizzes 10%
Class Participation 20%
Homework 50%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Cengage Learning Basic Steps to Academic Writing--From Paragraph to Essay, Matthew Taylor & David Kluge

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active Participation is essential

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅰ			13705	Ⅰ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	選択	2	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士			

授業の到達目標

小学校・中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の基礎を、次に続く英語科教育法Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの授業との連携も視野に入れて身に付ける。
英語教師として学習指導を行うための基礎づくりを目指す。英語そのものに関する知識や運用能力を向上させながら、第二言語習得のプロセスや運用のメカニズムに関する基礎知識を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

授業の概要

授業の概要：学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導についての基礎的な知識及び複数の領域を統合した指導法を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身につける。
教師にとってもっとも重要なのは、自分に与えられた実際の「教育の場」という現実から最善の方策を生み出す能力であると思われるが、そのためには、実際の英語学習指導にどのようなファクターがどのように作用しているかを見極めることができないなければならない。それぞれの生徒に各自の持っている潜在能力を学習場面で最大限に発揮させることが教師にとって重要課題になるが、そのためにこの授業では、教師が 方的に講義するのではなく、学生に問題提起し、資料を提供し、それに基づいて積極的に考え、実践してもらう予定である。

授業計画

- 英語教育の目的(1)小・中・高等学校学習指導要領の理解
- 英語教育の目的(2)小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方
- 第2言語習得研究(1)学習者の特質：認知的要因
- 第2言語習得研究(2)学習者の特質：情意的要因
- 第2言語習得研究(3)学習者の特質：動機付け
- 英語教材研究(1)音声とつづり字
- 英語教材研究(2)語彙と表現
- 英語教材研究(3)文法と情報構造
- 英語教材研究(4)Eラーニング、ICT教育
- 音声言語指導 リスニング・スピーキング(やり取り・発音)の指導

- 音声言語指導 リスニング・スピーキングの授業展開、チームティーチング
- 書記言語指導 リーディング・ライティングの指導
- 言語能力の測定と評価(1)パフォーマンス評価等評価方法と評価基準
- 言語能力の測定と評価(2)テストの意義と作成上の留意点
- 総括 英語教師の資質と能力

授業の方法

講義のほかに発表を多く取り入れる。

準備学修

必ず、あらかじめテキストを読み、予習して授業に臨むこと。

課題・評価方法、その他

平常点40%、発表点40%、定期試験20%

欠席について

欠席・遅刻については 定の比率で減点する。

テキスト

新・グローバル時代の英語教育 新学習指導要領に対応した英語科教育法 岡秀夫 編著 成美堂

参考図書

『外国語学習の科学』白井恭弘(岩波書店)
『中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】』(文部科学省)
『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】』(文部科学省)
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

授業中の意欲、積極的学習態度を評価する。課題発表にさいしては、発表者と聞く側の学生が質疑応答を通して議論を深めること。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ			13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「英語」)			

授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下（授業計画）の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図の全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

授業計画

- はじめに：授業の概要について
- 学習指導要領の理解
- 英語の指導目標と内容
- 学習者の要因
- 言語習得の理論と諸問題
- 発音の指導
- 文字と綴りの指導
- 語彙表現、文法の指導
- リスニングの指導
- スピーキングの指導
- リーディングの指導
- ライティングの指導
- 言語技術を統合した指導
- 異文化理解
- 総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)
- 定期試験

授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題：講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、あるいは個人指導においてフィードバックを行う。
評価方法：平常点30%、定期試験70%
授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

欠席について

欠席・遅刻については 定の比率で減点する。

テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』研究社

参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学 第二言語習得論とは何か』(岩波書店)
中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】(文部科学省)
高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】(文部科学省)
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目 <こどもの生活世界>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
箕野 聡子／宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「社会」）（箕野） 私立中学高等学校教員（科目「英語」）（宮副）		

授業の到達目標

初等国語の 貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。（箕野）
すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。（宮副）

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。（箕野）
児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。（宮副）

授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其 桃太郎」
- 2 浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 坪田譲治「河童のはなし」
- 5 有島武郎「房の葡萄」
- 6 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 7 松谷みよ子「貝になった子供の話し」
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』
- 10 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 11 R.L.スティーブenson『宝島』
- 12 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 13 L.M.オルコット『若草物語』
- 14 ペアトリクス・ボター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像作品の鑑賞も行う。（箕野）
演習形式の授業である。学生の担当を決めて発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。（箕野）
平常点15%、小テスト15%、発表、および提出物 30%、レポート40%（宮副）

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。（箕野）
『たのしく読める英米児童文学』本多英明/桂宥子/小峰和子編著 ミネルヴァ書房（宮副）

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp
miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目 <こどもの生活世界>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳幼児心理学		17445	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
長谷川 貴子	選択	2			

授業の到達目標

乳幼児期の運動・知覚・認知・知性・言葉・社会性・遊びの発達について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

新生児や乳幼児が獲得する能力の豊かさと多様性についての知識を深めるとともに、保育場面においてそれらを育み、促進する大人の関わりについて検討する。

授業計画

- 1 はじめに：乳幼児心理学とは
- 2 胎児の発達
- 3 身体・運動機能の発達
- 4 知覚の発達
- 5 認知・思考の発達
- 6 情緒の発達
- 7 ことばの発達
- 8 自己の発達
- 9 親子関係の形成と発達Ⅰ：錯覚から脱錯覚へ
- 10 親子関係の形成と発達Ⅱ：愛着
- 11 社会性・道徳性の発達
- 12 子育て・親としての成長と支援
- 13 乳幼児虐待
- 14 発達の違いと支援
- 15 まとめ

授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

定期試験（50%）、小レポート（20%）、出席（30%）

欠席について

学内の規定に従う。

テキスト

適宜配布する